

2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際 > エ 活動プログラムの実践

<高等学校> 活動プログラム②トラブル未然防止のスキル



ペアやグループを意図的に構成して、実践しました！

1 活動プログラムの展開案において、ペアでの活動がある場面を確認しました。

【活動プログラム2時目の展開案より】

	<p>【フレイド14】 ○2人組でAさんとBさんの役を交代しながら練習します。台詞を自分で考えることができなかった人は、ワークシートに写した台詞を使って練習しましょう。</p> <p>○Aさん役の人は、Bさん役の話し方に話し方のポイントが入っていたら、ワークシートの2の(2)に○印を付けてチェックをしましょう。また、ポイント以外にも表情や口調など、良かったところを書きましょう。</p>	<p>表情や口調なども、話し方のポイントとして着目させる。</p>
--	--	-----------------------------------

学習活動4
話し方のポイントを使って練習をする

資料1 活動プログラム2時目におけるペア活動の場面



2 活動プログラム①の実践後に「グループ活動アンケート」(1回目)を実施しました。

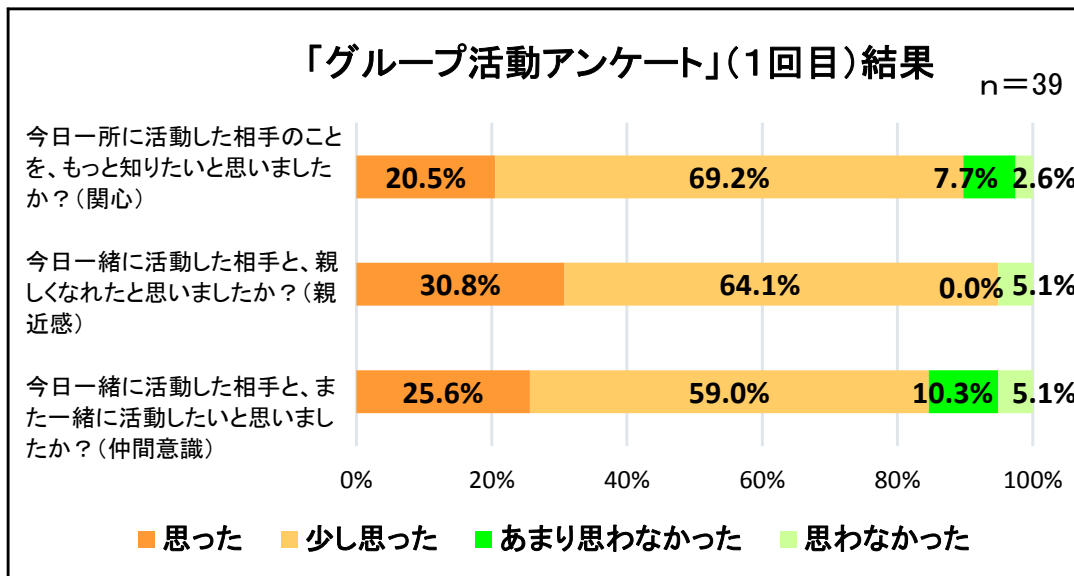


図1 「グループ活動アンケート」(1回目)結果



3 学習のねらいと「グループ活動アンケート」(1回目)の結果から、以下のようなグルーピングのための視点を挙げました。

○アサーションスキルやソーシャルスキル・トレーニングの学習を通じた、自他尊重の自己表現のス

キルを学ぶため

- ・練習したスキルを実際の場面で使うことができるようにするため、授業で取り扱う掃除でのトラブルの場面に合わせて、同じ掃除班の生徒同士を組む。
- ・「グループ活動アンケート」(1回目)において、1時目のペアと異なる友達との活動を希望する生徒が多かったことから、1時目のペアと異なる生徒同士を組む。

○グループでの活動が停滞しないようにするため

- ・友達との関わりが苦手な生徒と、友達に対して穏やかな態度で接するなどの気遣いができる生徒を組む。
- ・授業で取り扱うトラブルの場面と同じトラブルを経験したり、トラブルが継続したりしている生徒同士は組まない。



4 「PIGシート①」を活用して、「グループ活動アンケート」(1回目)の結果と担任の観察を基にして総合的にアセスメントし、グルーピングを行いました。

※資料2は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

【取扱注意】												
BIG PIGシート① (高等学校)		振返 ①	グループ活動 アンケート [実施日 ○/○]				理由などの 特記事項	担任等の観察 [実施日 ○/○]			グルーピング	
No.	氏 名	学習に進んで参加できた	活動した相手をもっと知りたいと思う	活動した相手との距離が縮まったと思う	活動した相手とまた一緒に活動したい	今回の活動に配慮を要する生徒 <input checked="" type="checkbox"/>		押しつけさん <input checked="" type="checkbox"/>	もじもじさん 自分の意見がうまく言えない <input checked="" type="checkbox"/>	さわやかさん (相手のことを考えて発言できる) (◎か○)	怒りについて知る	※グルーピングに関しての担任の見取りを記入する (例) 要支援群(「QU」アンケート)、不登校傾向、○○さんとは×、事前説明が必要、◇◇部に在籍 など
1	○○ ○○	4	4	4	1		他の人としたい				A	A
2	○○ ○○	3	3	3	3				○		B	A
3	○○ ○○	4	3	3	3						C	B
4	○○ ○○	4	3	3	4			✓			B	C
5	○○ ○○	4	4	4	3						C	C
6	○○ ○○	4	3	3	3				◎		A	B
7	○○ ○○	4	3	3	3	✓		✓			D	D
8	○○ ○○	4	4	3	4						F	F
9	○○ ○○	4	3	3	3				◎		E	D
10	○○ ○○	4	4	3	4						D	E

資料2 「PIGシート①」を活用したグルーピングの実際



- 5 実際の座席は、以下の点に気を付けて配置しました。今回、配慮した生徒は2名です。
 ※資料3は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。
 ・実際の掃除の班の中でペアをつくり、配慮を要する生徒を含むペアも、班ごとに配置する。

○年○組 座席表(○月○日 活動プログラム②「トラブル未然防止のスキル」)

○○ ○○ 2班	○○ ○○ 2班	○○ ○○ 3班	○○ ○○ 3班	◎ ○○ ○○ 4班	★ ○○ ○○ 4班	○○ ○○ 5班	○○ ○○ 5班
○○ ○○ 1班	○○ ○○ 1班	★ ○○ ○○ 3班	◎ ○○ ○○ 3班	○○ ○○ 4班	○○ ○○ 4班	○○ ○○ 5班	○○ ○○ 5班
○○ ○○ 1班	○○ ○○ 1班	○○ ○○ 2班	◎ ○○ ○○ 2班	○○ ○○ 4班	○○ ○○ 4班	○○ ○○ 5班	○○ ○○ 5班
○○ ○○ 1班	○○ ○○ 1班	○○ ○○ 2班	○○ ○○ 2班	○○ ○○ 3班	○○ ○○ 3班	○○ ○○ 5班	○○ ○○ 5班
○○ ○○ 1班	○○ ○○ 1班	○○ ○○ 2班	○○ ○○ 2班	○○ ○○ 3班	○○ ○○ 3班	○○ ○○ 4班	○○ ○○ 4班

教卓

黒板


電子黒板(70インチ)


- 【座席表上の記号】
- ◎(気遣いができる生徒)
- ・友達と穏やかな態度で接することができる
 - ・しっかりしている
- ★(配慮を要する生徒)
- ・自己表現が苦手
 - ・友達との関わりが苦手
 - ・教師の配慮を気にする

資料3 座席配置の実際



- 6 実際の授業は、以下の通りです。

過程	●配慮の実際	・生徒の反応や教師の気付き
【授業前】	<p>●既存の座席が奇数列で横の席でのペア活動を行うことに支障があったため、座席を偶数列に変更した。</p>  <p>【座席の様子】</p> <p>●授業当日の朝、担任から生徒に主な学習内容と活動形態(ペア活動)、それに伴った座席配置について伝えた。</p>	<p>・座席表を学級全体に対して示したため、座席の変更についてはスムーズに行うことができた。</p> <p>・1時目の座席配置で、教師の配慮を気にしていた生徒は、今回の座席が掃除の班ごとの座席配置になっていたため、特に、座席を気にする様子は見られなかった。</p>
【授業中】	<p>●ペア活動を円滑に進めるために、ペアの机を寄せ合うこととした。</p>	<p>・ペア活動において、全体的に活発なやりとりが見られた。</p> <p>・配慮した生徒は、ペアの生徒と話し方のポイントを使って練習し、感想や気付きを出し</p>

	 <p>【ペア活動の様子】</p>	<p>合っていた。</p>
<p>【授業後】</p>	<p>●配慮した生徒の様子を観察し、必要に応じて声掛けをした。</p>	<p>・配慮した生徒が、授業後、自分が書いたワークシートの台詞を近くの友達と見せ合う場面が見られた。</p>



実践してみたら、このような生徒の姿が見られました！

- ◆授業後の生徒の反応（「グループ活動アンケート」・「振り返りシート」より）
※配慮した生徒は2名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

- ペア活動における生徒の友達に対する意識の変化について
・「グループ活動アンケート」の質問に対する生徒の回答の結果
※配慮した生徒は2名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

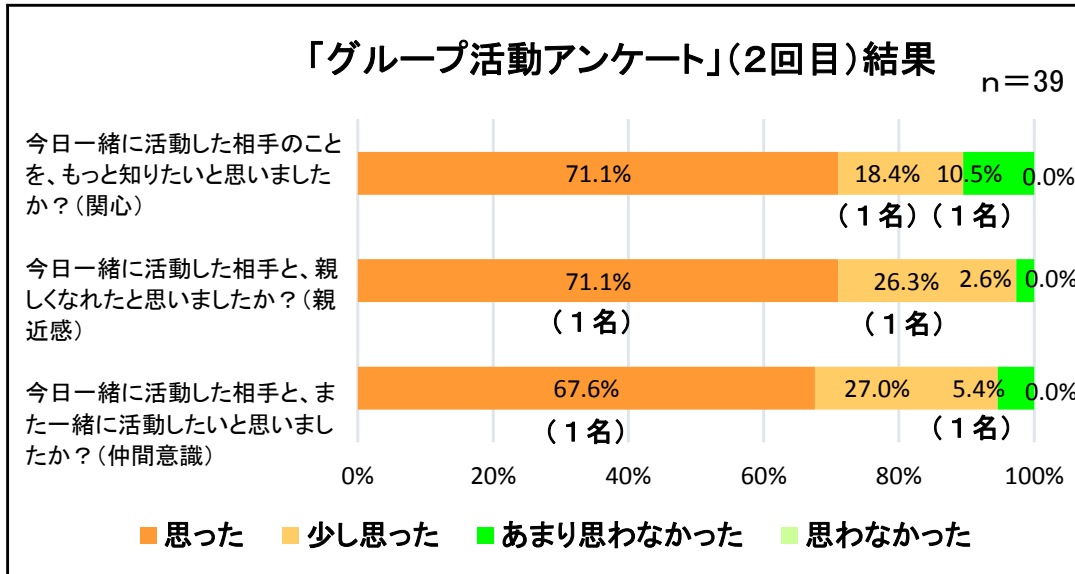


図2 「グループ活動アンケート」(2回目)結果

- ・ 配慮した生徒の感想



今日一緒に活動した相手のことは、それなりに知ることができたので、次は他の人とも意見を交換してみたいと思いました。

○ペア活動で取り扱った「トラブル未然防止のスキル」の学習について
 ・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果
 ※配慮した生徒は2名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

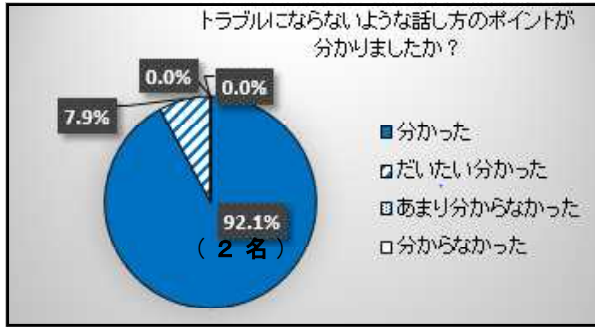


図3 話し方のポイントの理解について

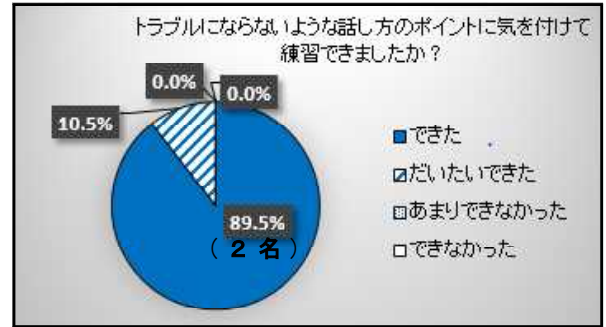


図4 話し方の練習について

・生徒の感想



とても勉強になり、楽しかったし、相手のことも考えて良いところを見付けられたので、良かったと思います。

人によって意見や考え方は全く違うことが分かりました。人の意見を尊重することも、トラブルを避けるのに必要だと思いました。



○ペア活動を取り入れた学習への参加状況と学習内容に対する活用意欲について
 ・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果
 ※配慮した生徒は2名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

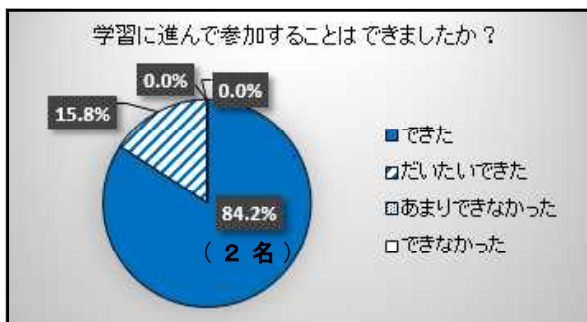


図5 学習への参加状況について

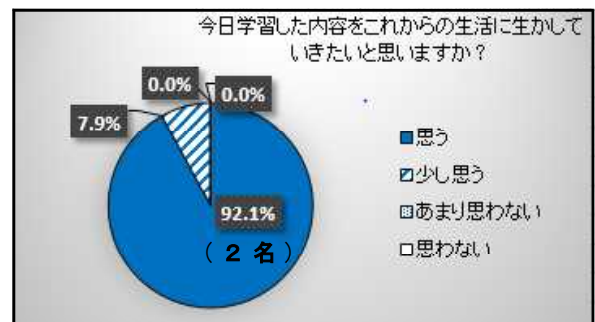


図6 学習内容に対する活用意欲について

・生徒の感想



今まで自分がしてきた言い方や態度より、今回習った話し方が相手を不快にさせないので、これからは実際に使っていきたいと思います。

今回の授業では、自分の意見を伝えつつ相手を不快にさせない方法を学ぶことができました。ペアで活動することで、自分にない考え方を知ることができたので、今後取り入れていこうと思いました。



◆授業後の教師の感想



2回目の授業ということもあり、生徒は前回よりも積極的にペア活動に参加していました。学校生活における日常場面をロールプレイングで取り扱うことで、生徒は自分のこととして学習に取り組むことができていました。今回の学習内容である「トラブルにならないような話し方」は、社会に出てからも役に立つスキルであり、実際に使うことができるようになりたいと考えている生徒が多く見受けられました。

配慮した生徒の「グループ活動アンケート」には、「ペアの相手が優しく接してくれたので、話しやすかった」という記述が見られました。また、授業後には、自分が書いたワークシートを近くの友達と見せ合う場面も見られたことから、今回の授業は、友達との関わりが苦手な生徒にとって、人と関わることの心地よさを感じることができる機会になったと思います。